

未来を開く

長井市立長井北中学校

No64 令和3年12月6日

◇第2回「学校評価」結果報告◇

「学校評価」へのご協力ありがとうございました。第1回目の結果と合わせて成果と課題を明確にし、より良い学校づくりに生かします。

(※) 数値は、上段が今回、下段が前回との比較です。単位:%

1 確かな学力の育成	生徒	保護者	教職員
①授業では、授業内容を理解しようと意欲的に取り組んでいる	98 (+2)		
②先生方は、わかりやすく、楽しい授業をしてくれている	95 (±0)	92 (+2)	100 (+14)
③自分は、授業中に積極的に友達と話し合ったり教え合ったりしている	93 (±0)		95 (+22)
④毎日の家庭学習を計画的に行っている	83 (-4)	69 (-1)	70 (-3)
2 自尊心の育成	生徒	保護者	教職員
①自分は、自信をもって自分の長所を言える	79 (+1)	96 (±0)	76 (-15)
②自分の役割に責任持って活動することができている	98 (+1)		100 (+5)
③自分は、元気・笑顔・会釈・自分からのあいさつができる	94 (-1)	94 (+5)	
④いじめや嫌がらせがなく、温かい雰囲気の中で生活することができる	98 (+3)	92 (-3)	100 (±0)
⑤先生方や友だちは、困ったときに相談にのってくれる	98 (+1)		

3 健康・体力の育成	生徒	保護者	教職員
①自分は家庭で決めたルールを守ってインターネットやゲームをしている	92 (+4)	58 (-10)	70 (-3)
②朝食をしっかりと取り、睡眠時間を確保しようとしている	90 (-2)	75 (+4)	80 (+3)
③交通ルールを守り安全に注意し、事故やケガに遭わないよう努力している	100 (+1)		95 (±0)
④5時間授業が増えたことで、家庭生活にゆとりができている	94 (+1)	76 (+3)	
4 地域の学校・開かれた学校づくり	生徒	保護者	教職員
①北中は、地域に貢献し地域と共に伸びる学校になっていると思う		91 (-4)	100 (+9)
②学校だより、学年・学級だより等で学校生徒の様子がよくわかる		95 (+2)	100 (+4)

(※) 数値は、4段階評価のAとBの数値の合計。(4段階とは、

A:大変よくできている B:まずまずできている

C:あまりできていない D:ほとんどできていない)

項目ごとの結果を一覧表にまとめて整理してみました。

生徒、保護者、教職員の設問表現は多少異なりますが、関連項目ごとの数値を掲載しました。生徒設問項目における「〇〇している、〇〇してくれている」は、教職員の項目では「〇〇するよう指導している、〇〇と声かけしている」などと読み替えてください。

学校としては、次のような《考察》を行いました。

1 確かな学力

① 授業への意欲

A, Bの合計が98%と高い数値。

(学年別Aの割合:1年43%、2年55%、3年64%)

② わかりやすい授業

全体的には高いが、A評価の割合が各学年で低下。

Aの割合は62%。

(学年別Aの割合:1年60(-11)%、2年67(-7)%、3年59(-8)%)

③ 話し合いや教え合い

生徒・教員ともに高い値。

チェック



④ 家庭学習

5時間授業により、家庭学習時間の増加。しかし、生徒と保護者の数値に大きな開き。必要感のある宿題の内容を工夫するとともに、「学習は計画的に根気強く」という意識づけも必要。

2 自尊心の育成

① 自分の長所を言える

日常生活や、行事等をとおして自尊心が育成された。家庭で触れ合う時間や機会が増えたことも、要因になったようだ。

② あいさつ

PTA育成部による「さわやかあいさつ運動」では「声が小さい。」「挨拶が返ってこない、無言の時があった。」というご指摘をいただいている。

③ いじめや嫌がらせがない

全体的に高い数字。「いじめ撲滅宣言」など、生徒会や自治活動が功を奏した。今後も継続して指導の必要性あり。

④ 相談にのってくれる

生徒から高い評価。信頼関係の継続に向け、生徒に寄り添った指導の継続。

3 健康・体力の育成

① メディアのルール

保護者の半数が、課題意識を持つ。利用目的、時間等『学校だより No.60』『問われる「責任」と「モラル」』でも記載したとおり、家庭におけるルール作り、モラル教育の一層の推進が急務。

② 朝食・睡眠

生活リズムのとらえ方に、生徒と保護者間で大きな開き。生活様式の変化等で、朝食の時間が一緒でない家庭も増加傾向。

③ けが・事故防止

生徒、教職員ともに高い数値。事故にあわない、起こさない意識は非常に高い。

4 開かれた学校づくり

① 地域に貢献する学校

コロナ禍の中、生徒はできる範囲で地域活動に参加するなどの貢献が評価された。祭りやイベント等への参加機会はほとんどなかったものの、作品応募や地区文化祭へ作品展示の協力ができたことは良かった。

② 情報発信

学校、学年、学級だより、ホームページで情報提供は高い評価をいただいた。「学校の様子がよくわかる。」との声あり。

【これから改善するポイント】

■毎日の授業と家庭学習を充実・連動させて、学力向上をめざします。

- ・教師は、より「わかる・できる授業」づくりと、授業後半を重視した指導に努めます。
- ・必要感のある家庭学習の工夫と、学習意欲が高まるような声かけをします。

■自分の長所や良さに気づかせ、善悪の判断を持ち、困難を乗り越えようとする強さとたくましさを一層伸ばします。

- ・生徒と共に居て、生徒のようすを見取り、認め励まします。
- ・いじめや嫌がらせの未然防止と早期発見のため、北中ノートや日常の会話、相談を充実させます。

■「いつでも、どこで、誰にでも」自分からあいさつを意識させます。

- ・生徒会活動を中核に据え、あいさつ指導を強化して、「北中生のあいさつは、いいなあ～」と評価されることをめざします。

■生活リズムを整えます。

- ・学校保健委員会で「SNSの利用について」を取り上げ、学年集会等でも指導しながら、保護者と課題を共有します。
- ・バランスの良い「朝食」は、必ず取るよう声かけします。

■安全意識を一層定着させます。

- ・防寒具着用と、手荷物は極力持たない指導を行います。
- ・新型コロナウイルス感染症予防対策を継続します。

月

日

曜

日

直

今後も、お気づきのことやご相談等があれば、いつでも学校に声をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。